



府連通信

2023年6月号
 日本中国友好協会
 大阪府連合会
 〒530-0013
 大阪市北区
 芝田2-3-19
 東洋ビル本館207
 TEL06-6372-8131
 FAX06-6372-8132
 郵便振替口座
 00970-5-8978
 E-mail: info
 @jcfaosaka.org
 ホームページ
 http://
 jcfaosaka.org/

連続講座 杜甫の名作を楽しむ会

杜甫の魅力と人柄を再発見

5月28日午後、第1回府連主催の杜甫の名作「漢詩、漢文を楽しむ会」を大阪国労会館で30名が参加して開催しました。

講師は下定雅弘岡山大学名誉教授・日本杜甫学会会長です。

講義は一刻千金

杜甫は、知人に糧を頼りながら生まれのままに洞庭湖の舟の上で「のたれ死に」ともいう生涯を送った。しかし、そういう中で希望を捨てずに詩作を続けた、というのが今までの私の認識でした。

講師からひとこと

中学・高校で習った漢詩・漢文を中心として、最新の研究成果を参照しながら読み直します。今シリーズは杜甫を取り上げます。

杜甫は、自ら「人生は哀楽半ばにして、天地に順逆有り」というように、戦乱の世に漂泊する日々の中でも、数々の喜びを見つけて生き抜きました。杜甫の魅力を再発見しましょう。



しかし今回の講義で永遠に夢見る文学少女である私は打ちのめされました。杜甫は天子の側近の職を得ることを終生の目的としたのです。また、従来の諸説がここ30〜40年の研究でくつがえされていることを知りまして、こういう知識が研究者間には知られていないこと、知識の独占を一刻千金です。(高田 佳音子)

杜甫の人柄を身近に感じる

予想していたとおり、レベルの高い学習会でした。資料を追うのが精いっぱいでした。

詩経と漢詩の違い、エリート官僚・杜甫が漢詩を1400年を経て「改革」した自由な詩に触れて、杜甫の人柄をとてもし近に感じました。次回の学習会、若干弱気になっていますが楽しんでみられています。(平澤 京子)

李白と並び「李杜」と

杜甫は一生に四度官を授けられ、一度官をおとされ、一度官を罷免された興味深く話され、唐の時代の官僚制が少し分かった。また詩を日記のように1500首近く詠じ、李白と並称して「李杜」と言われていた。

石子副会長 中国映画の魅力語る

5月14日午後、福岡日中文化センターからオンラインで中国百科検定講座「中国の映画状況」をテーマに、漫画・映画評論家の石子順さんが講演されました。全国48か所80名、大阪府連文化教室では8名が受講しました。

石子さんは「長春育ちから見た中国映画小論」をテーマに、中国映画の始まりから映画文化の変化や中国映画の魅力など、映画俳優や漫画評論の執筆、日中友好新聞に「中国映画（明星）物語」を連載中です。



1905年「定軍山」という京劇の1段を上海で撮影、その後満洲映画協会の機材やメンバーを引き継ぎ長春で新中国映画を撮影。

1951年協会が「白毛女」を日本初上映、文化大革命で中断後20年間に116本の劇映画が上映されました。この講座は百科検定ホームページやYouTubeで公開する予定です。

石子順さんは中国から帰国後中国映画の字幕翻訳や漫画評論の執筆、日中友好新聞に「中国映画（明星）物語」を連載中です。

堺支部 詩吟教室や戦争展に取り組む

「詩吟健康教室」を横山音城さん（吟道賀城流 総師範）先生に6月から開きます。正しい「丹田呼吸発声法」で健康を促進するのが目的で、初心者にも丁寧なレッスンします。

6月8日（土）午後4時から多文化交流プラザさかい（堺市立総合福祉会館5階）2ヶ月に1回開催予定です。

9・24フェニーチェ堺公演プレ企画の「う



「堺平和のための戦争展2023」が8月5日〜6日サンスクエア堺で開催されます。日中戦争での日本軍の毒ガス使用及びその遺棄問題や中国万人坑と大阪府連が長谷川テルをテーマに展示します。(上村 康夫)

中河内支部 市民まつりで署名を訴え

6月4日、4年ぶりの「みんな資料をならべ宣伝。対話がはずなでつくり文化かおる」東大阪市民まつりに中河内支部も参加し、テーブルに友好新聞や百科検定テキスト、中国語教室のし、土手の上で開催しました。

中国文化を知る女性部学習会

ラブリー中国 第2回中国料理編

5月21日午後、日中文化センターで第2回女性部学習会が開催され、高田佳音子さんから中国料理の油や米、麺などの紹介がありました。

今回は前回を上回る16名の参加があり、資料⑨米⑩伝統食までを学習しました。

その一つのテーマ「豆腐」では、日本の豆腐の味は外国でも評判ですが、保存が難しく中国ではさまざま加工の仕方です。豆腐作りをしています。

スカーフのようにしなやかで、折り畳める豆腐、プレス機で水分を絞った味付け豆腐、チーズのような豆腐などさまざま、保存に苦労して作られています。

世界最大の生産量を誇る中国米。1980年中国東北部に稲作技術（ジャポニカ米）を伝えた農業専門家の藤原長作さんの碑が、黒龍江省にあります。

講師と参加者のフリートークで進む学習の世界は、どんどん広がって深まっています。「楽しく集まる会」楽集会です。



次の第3回は7月16日（日）午後1時半から「料理編」の最終で、⑪ウイグル料理⑫中国酒です。第4回「文化・風俗・習慣」に移る前に、実習「中国料理を食べよう」を計画中です。乞うご期待！（平澤 京子）

ラブリー中国に参加して

テーマが「中国の食」。仕事で行っていた頃の中国の食を思い出してました。色々美味しいものがある中、普段野菜の料理方法や味付けが違うことが新鮮でした。

先生の資料の豊富さには、驚きです。改めて中国の文化を知る楽しい時間でした。また参加したいです。(岐阜県連 川治 由香)

食習慣の違いに驚く

中国の食について「魚はひっくり返して食べない」「中国の豆腐は種類が多く沖縄の島豆腐のように少しかたい」「岩手の藤原長作さんが品種改良された中国にもおいしいお米を食べている」と説明されました。

講師の高田さんは思いのほかゆるい先生、話しながら上手に参加者に話を振ってきます。対話がはずみ楽しい学習会でした。(山本 範枝)

年内の開催予定は、

- ③ 7月16日 ④ 9月17日
 - ⑤ 11月19日
- 隔月第3日曜日1時30分から会場は府連文化教室



72大会開く

6月4日、日中友好協会第72回大会が東京都内で全国85カ所とオンライン併用で、2000名が参加して開催されました。

来賓の中国大使館、聶佳参事官は「45年前の平和友好条約は両国間の重要な原則を定める価値ある条約。友好にとって協会の役割には大きなものがある。」と挨拶されました。大会宣言と特別決議「日中平和友好条約締結45周年にあたって」を採択しました。大会では女性部の平澤京子さんと西支部の平松悦雄さんが発言しました。

(感想) いい大会でした。豊かで幅広い活動内容で素晴らしい発言でした。府連女性部ここにありを全国に発信できたこと誇りに思います。④

平澤さんのキリリとした発言
参加準備をお願いします。

府連大会近づく

6月14日(水)6時、府連事務所
6月11日(日)2時国労会館
2級対策講座
3級対策講座

帰国者支援署名4000を超える

6月1日、大阪中国帰国者センターで第13回中国帰国者支援委員会が開かれました。『中国帰国者2世の生活支援等を求める請願署名』はコロナ禍の下、「もうやめた」「またやるの?」という声がある中、みなさんの奮闘で4311筆まで到達しました。(第一次は5153筆)

連休明けには団体要請訪問を3組で23団体を訪問し署名の協力を訴えました。この行動には支援委員以外の府連理事も参加し、運動の広がりを見せています。5日には国会で院内集会が開催されました。

府連目標の5千筆まで手の届くところまで来ました。頑張っていたいただいた会員のみなさん、

「私たちの活動を率直に伝えたい」は感動が続いています。①

中国百科検定講座

受験申し込みが(6月15日〆切)

7月15日実施の受験申込は遅れています。7月受験申し込みは全国でまだ21名です。会員皆さんの受験をお願いします。

試験科目は初級・3級・2級
7月15日実施の受験申込は遅れています。7月受験申し込みは全国でまだ21名です。会員皆さんの受験をお願いします。

7月23日(日)午後、大阪国労会館で開催します。組織強化を進める中で大会を迎えましょう。

心から感謝申し上げます。同時に府連目標達成のため、あと一息の奮闘を訴えます。

城北支部 新緑の神戸を散策

関帝廟へ華僑歴史博物館へ南京街に遊ぶ

新緑の季節を迎えた5月6日(土) コロナ禍で長い冬を耐え、お金の代わりに紙銭を燃やして芽吹く草花のように行動制限を解かれ何やら晴れやか、久々に日中友好協会城北支部の有志5人と連れ立ち中国と縁(ゆかり)の深い神戸を訪れました。

JR元町駅から山手に向かつて坂道を歩き関帝廟へと向かい、山門の前に立つと目に飛び込んできたのが、寺院彩色の鮮やかさと日本との建築様式の違いを感じながら、中門(登龍門)を抜け本堂(金堂)へと入るや正面に主神・関帝座像が祀られ、天井中央には天空より守護するが如く金色の龍が凝視している。関羽公は仁・義・礼・忠・信の厚いことから義の人、商売の神と言われ、慕われ信仰されている。中庭の金亭(竈・かまど)の説明を聞き、中国では人が亡くなっても彼岸の向こうにもう



お昼を過ぎ大型連休で賑わう南京街へ向い、数ある郷土料理の中で広東料理店へ入り、美味しい料理とお酒に堪能し話弾み楽しいひとときを過ごしました。近世に於いて列強に因るアジア支配、蹂躪、国家に翻弄される歴史を透して学び、構築することが明日の道を開くものと考えます。(柳基世)

太極拳座学講座 肩甲骨をテーマに開く ゆるむ肩甲骨は元気の源

西支部は5月21日午前、北スポートで太極拳座学特別講座が23名の参加で開催「肩甲骨を動かす」をテーマに恒岡正勝指導員が解説しました。「肩甲骨のはがし方や、立甲トレーニングについて解説、立甲ができれば腕をすなやかに美しく動かせる防止にもなる。」と説明、参加者は3グループに分かれて練習しました。



座学特別講座に参加して



恒岡さんから「太極拳は武術で健康法です。手の張り合う感覚や押している感覚等何かしている美しさが重要です。表面では見えない所が問われます。」型も大切ですが、指導者から肩甲骨をゆるめる方法を学んでもらって特別、肩甲骨が開発に挑戦して下さい。肩甲骨がゆるめば太極拳の技術に与える影響は大きいです。「もう少し楽な姿勢でやるとゆるみやすさ、もっとよくなると思います。太極拳の仕草は、労働の仕草で熟練動作の動き。」

陳式簡化36式太極拳 3段に入る 太極拳

府連陳式簡化太極拳講習会は月1回のペースで開催、毎回20名が本部指導員の恒岡正勝さんの指導で、基本練習と、陳式套路を練習しています。



西支部 映画会 戦争と人間第2部 西支部 きりえで 創るうちわ講習会

7月2日1時から府連文化センターで上映。4月に第1部を上映しました。第2部への期待大です。6月18日(日)2時から府連文化センターで行ないます。参加費1000円。事前に申し込みください。